

## 令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

### 【市町 目標】

○令和4年度教育施策の柱である「スクールESDくさつ」「英語教育草津のStandard」「New草津型アクティブラーニング」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成する。

### 【学校 目標】

○議論や交流から学びを深め考動する生徒を育成する。

### 【現状と課題】

○視点1 学習規律は安定している状況であるが、読み解く力と家庭学習に関して支援を強化する必要がある。ICT利用についてはプログラミング学習の導入に伴い、使い方や内容を工夫する必要がある。グループ討議については定着しているが全ての教科で設定できるようにする必要がある。  
 ○視点2 道徳教育・人権同和教育に力を入れてきた経験を生かし、自尊感情の醸成を目指すとともに、学びを深めあう機会と学びを確認しあう場の設定を図る。  
 ○視点3 人権同和教育・特別支援教育・生徒指導の3本柱を軸とする教育活動を充実させる。また、老上学区は校種を超えて学び合う学区校区研修の機会に恵まれている。校区研への参加の意識を高揚させるとともに校内でのOJTの充実を図る。

### 取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

#### 【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○ICTの適切な活用により、一人ひとりの学びの状況に応じた指導を充実させる。 ○グループ討議の時間を授業の中に設定し、主体的・対話的で深い学びの実現につながる活動の蓄積をめざす。	・学校評価アンケート「学校の授業はわかりやすく、楽しい。」の項目で25%以上の「よくあてはまる」の強い肯定的回答を目指す。 ・学校評価アンケート「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい。」の項目で25%以上の「よくあてはまる」の強い肯定的回答を目指す。		

#### 【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○道徳教育・人権同和教育を推進し、自尊感情の醸成と互いに認めあい高めあえる集団づくりをめざす。 ○主体的に課題を見つけ、意見を交わし、課題解決に向けて学びを深めあう機会と学びを確認しあう場の設定を図る。	・学校評価アンケート「道徳の授業では、感動したり、いろいろな考えに気づかされる。」の項目で25%以上の「よくあてはまる」の強い肯定的回答を目指す。 ・学校評価アンケート「自分のことが好き。」の項目で20%以上の「よくあてはまる」の強い肯定的回答を目指す。		

#### 【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○「考動」を合い言葉に、人権同和教育・特別支援教育・生徒指導を柱にした教育実践を全教職員でやりきる。 ○校内はもとより老上学区校区研修に参加し、学びあう姿勢を培う。また、情報共有を継続的にを行い、連帯感を育むようOJTを推進する。	・教職員自己評価「教職員の人権感覚を磨く取組がなされている。」の項目で自己評価5の割合が10%を上回る。 ・教職員自己評価「教職員のニーズをとらえた学校課題にかかる校内研修に、計画的に取り組んでいる。」の項目で自己評価5の割合が10%を上回る。		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・年間11回、教科主任を中心とした校内研究委員会を開き、校内研究の方向性を確認して進める。また、職員会議で学ぶ力向上策の周知を行う。
- ・2学期に各学年で研究授業を行い、教員の授業力を高める。
- ・2学期はじめと3学期はじめに学校評価アンケートを行い、学ぶ力向上の達成を図る。

### 今年度の取組の成果と課題

--